

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉智子
全体計画	平成29年度	～	平成31年度	経費区分	-				内線	3613	
事務事業名	4295 教育相談事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費									
	事業	060000 教育相談事業									
事業目的						事業概要・効果					
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについての問題解消に努める。						小学校に入学後、個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援を実施。 スクールカウンセラーや心の教室相談等の専門職を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		7,781	8,089
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,815	1,800
一般財源		2,966	6,289
人員数 (人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	3.0	1.0
	臨時職員	0.8	2.0
人員 コスト	正規職員	7,149.0	7,149.0
	嘱託職員	8,298.0	2,766.0
	臨時職員	943.2	2,358.0
	計	16,390.2	12,273.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.4
総額		24,171.2	20,362.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,624	スクールカウンセラー謝礼 学校問題解決支援チーム会議委員謝礼
11節 需用費	260	発送検査用紙の購入 消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,897	教育相談員賃金、電話使用料 旅費 ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,812	スクールカウンセラー謝礼 学校問題解決支援チーム会議委員謝礼
11節 需用費	272	発送検査用紙の購入 消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,005	教育相談員賃金、電話使用料 旅費 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	臨床心理士をスクールカウンセラーに委嘱し、悩みを抱える児童生徒及びその保護者等との懇談や指導・助言を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童生徒の悩みに共感し助言や指導をすることで、多くの児童生徒の心の安定を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに、教育相談員の巡回を実施。 スクールカウンセラーの情報交換会の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
幼・保・小の連携を継続する。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>スクールソーシャルワーカーなどの効果的な配置が求められており、継続的課題</p>		<p>悩みを抱える子どもや親が増える中、効果的な事業</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	